

GCOE 国際会議出席報告書 (外国旅費用)

拠点リーダー 川合 光 殿

(ふりがな) 氏 名	たかつ ひろし	所属・職名	指導教員名 (院生の場合)
	高津 浩	D2	前野 悦輝
Tel,Fax e-mail	Tel: 075-753-3744 (Fax: 075-753-3783)		
発表題名	Comparative study of conductive delafossites with and without frustrated spins on a triangular lattice, PdMO ₂ (M = Cr, Co)		
著者名	Hiroshi Takatsu		
会議名称 ・開催期間	Highly Frustrated Magnetism 2008 自 2008年 9月 7日 ~ 至 2008年 9月 12日		
開催地 (国、市)	Germany・Braunschweig		
出張期間	自 2008年 9月 6日 ~ 至 2008年 9月 14日		
国別参加者数	約 200人		
<p>発表内容、聴衆の反応、質疑応答、その他について簡潔に記述してください。</p> <p>【発表内容】</p> <p>二次元三角格子上のフラストレート磁性と導電性の相関効果について、磁性と導電性を併せ持つ PdCrO₂ と同構造で非磁性金属の PdCoO₂ の電気抵抗率、比熱、磁化率の各物性を比較して報告した。更に、PdCrO₂ における磁気相転移温度近傍の臨界性のクロスオーバーの発見についても報告した。</p> <p>【聴衆の反応】</p> <p>幾何学的にフラストレートした磁性体で且つ導電性を有する物質は非常にめずらしく、興味を持ってくださる海外の研究者の方がいた。研究内容の詳細が書かれた自らの論文をポスターパネルの脇に、自由に持っていけるようにしていたところ、発表が終わるころには全てなくなっていた。理論家とフラストレートした磁性と導電性の関連についてあまり議論ができなかった点は残念に思われる。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>英語での質疑応答ではあったが、コミュニケーションをとる上では、それほど問題にはならなかった。相手が言っていることが分からない場合には、もう一度聞き返すことを心がけ、深く議論することができたと思う。ポスター発表は、積極的に質問することがし易く、自分の興味のある事について、詳しく聞くことができた。</p> <p>【その他】</p> <p>海外の研究者達と自らの研究について活発に意見交換することができた。自らコミュニケーションをとることを心がけることによって、初めての海外での国際学会ではあったものの、有益な議論ができたと思う。また、近年のフラストレーション磁性体研究の最前線を肌で感じる事ができた点は今後の研究活動に指針を与える非常に有益な体験であったと思う。</p>			